

子育てチャンネル



小さな灯火がとるように、
小さな命が女性の体内に宿っ
た。

それは一組の男女が聖なる
願いの下、望んでこの世に生
まれた命なのか。まがまがし
いひと時の、おもむくま
まの本能で一对の男女
の営みの末の命なの
か。

その小さな命は、
そのごちうとも知ら
ずぬくぬくとした羊
水の浮遊感の中で少
しずつ、しかし眼に
見えて成長していく。

小さな命は、まだ
自分自身が育つ境遇
を知らない。そして
外界から聞こえる音
に耳を澄ます。

穏やかな心音、静か
な話し声、ほっと力が
抜けるような安心感に包
まれる。片や、むせ返るよう
なアルコールと煙草のにおい、
早鐘のような心臓音、言い争
う大声、ときに体に響くほど
の振動や物が壊れる音。
小さな命は、まだ自分自身

子どもは親を選べない (ある小さな物語)

の運命を知らない。
やがて月日が満ち、苦しさ
に耐えながら産道を抜ける。
空気を肺いっぱい溜め、大
声を上げながら母親の鼓動と
体温、そして乳房を探す。

小さな命は、ここで好むと
好まざるに係わらず親子
の対面となる。
すっかり片付いた室内、
行き届いた掃除、時々
聞こえる美しい音楽、
やさしい話し声、力
いっぱい抱きしめてく
れる体温、懐かしい体
臭。「ここなら安心し
て暮らせる。この二人
ならしっかりと守ってく
れる」と思う。

片や、時折耳をふさ
ぎたくなるようなのし
り合い、人間にあるまじき
反社会的な行動、そして一貫
性のないちぐはぐな言動、居
心地の悪い家族。大人二人
の顔をうかがい、体罰を振
るわれないように身を縮めて
部屋の隅で暮らす環境もある。
子どもたちは親を選ぶこと
ができないのだ。

新聞やテレビの話題となる
子どもへの虐待やいじめ。未
熟で幼い親たち、かつて親か
ら受けた暴力を、そのままわ
が子に振るう思慮のない親た
ち。これらの親たちから子ど
もをどう守り、幸福な生活を
どう取り戻してやれるのか。

それぞれ担うべき機関や役
所があるはずだが、そこまで
行き着かず、そこに届かない
もどかしさ。もちろん、周囲
の人々も、見て見ぬ振り。耳
をふさいでいるわけでもない
のだが…。

親の言い分やプライバシー
という領域に阻まれて、私た
ちが情報として受け取ってい
る間にも進行している子ども
たちの不幸。

われわれは、アンテナを高
く掲げ、眼と耳で情報をキャ
ッチしよう。
もっとも私たちの町では起
こるべきものではないのだろ
うが…。老婆心ながら。

東川町地域子供育成連絡協議会

会長 三原 真琴



「大きなおきな、
たいこんになれ
まいわあめい」(6歳)



「あいてい、
たいこんになれ
まいわあめい」(6歳)

—— 幼児センターの子どもたち ——